

元気に参加・活躍できる東成区をめざして

第1層生活支援コーディネーターの取り組みです。「小地域福祉活動（小学校区）」、「有償による助け合い活動」、「3か月1クールの体操教室」、「医療・福祉専門職との連携」を紹介します。

元気に参加・活躍できる東成区をめざして

住民が“都会の田舎”と話すような、古くからのつながりが残る下町。区の西側にある大阪環状線辺りには、町会未加入世帯が増え、地縁のつながりの外側にいる方が増えてきている
※高齢独居率39.0% ※町会加入率は地域により差がある(35%の地域～75%の地域)

全11校下に「地域福祉活動サポーター」が配置され、地域と専門職の協働による「おまもりネット事業」や小地域福祉活動の推進、地域役員・専門職等との協議の場「地域ケアネットワーク連絡会」実施
サロン活動の連絡会(30団体以上)や、有償による助け合い(生活支援)活動(30分350円)が組織化
地縁の外側にいる方のつながりづくり、地域の中での役割づくりが必要!



地域福祉活動者が自ら活動を振り返る場「自主点検会議」(セルフアセスメントミーティング)の開催

小地域版の自主点検会議を実施→



会館に來れない方を対象にした、男性の居場所づくり



会館の活動に、新しい参加者を募るための働きかけ

地域活動参加に“敷居が高い”と感じる方も参加しやすいように、学習の場や新たな参加の場を設定

小地域福祉活動(小学校区)



専門職が企画する、全11校下への出前講座に活動者も参加し、「活動することが、自身の元気にもつながる」ことを発信



活動PRプレートの作成



活動PR動画の作成



30年9月から、大阪市「住民の助け合いによる生活支援活動事業」をしくみに追加し、介護予防Pの活用も可能とした

有償による助け合い活動

活動者の顔が見える周知活動により、26名の活動者が、57名に拡大
ちょっとした困りごとの解決件数が増加



区リハビリテーション連絡会と共催
区内のPTが体操を実施(通年)

3か月1クールの体操教室

修了生が色々な場で活躍

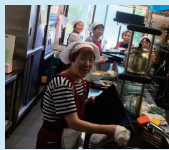
医療・福祉専門職との連携

包括的支援事業連絡会を毎月開催し、4事業の情報共有と、方針を確認。

会議だけでなく、全11校下へ「出前講座」も企画し、実施する(251名～280名に 介護予防、認知症、在宅医療・介護を啓発)



コミュ麻雀VO



食事サービスVO



有償活動VO

修了者のつどいを毎月実施し、修了生自主企画「歩こう会」に発展



「元気になる体操教室」をコンセプトに運営
個別のニーズに合わせてつながり&役割づくり



家事の工夫等をまとめた冊子発行



ケアマネジャー向けの研修を毎年開催。地域福祉活動サポーターとの合同研修会を実施し情報発信を定例化

地域に出向いてや専門職を通じてなど、閉じこもりがちな方へ積極的に情報発信

